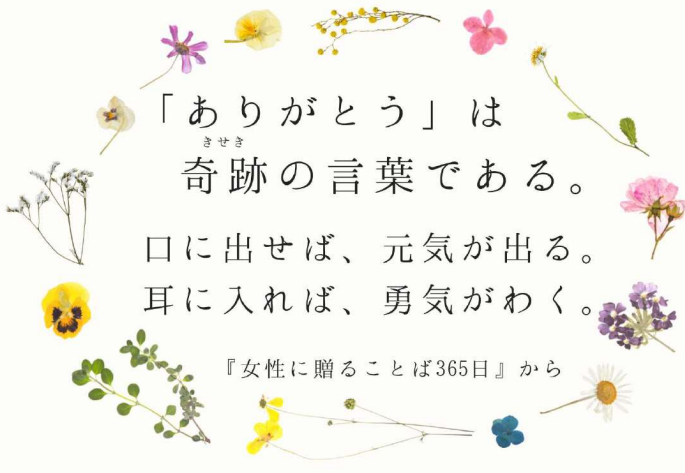




「ありがとう」は
奇跡の言葉である。

口に出せば、元気が出る。
耳に入れば、勇気がわく。

『女性に贈ることば365日』から



冬の寒さを知る人こそが、
春の暖かさを実感できる。
苦しみの闇が深かった分だけ、
大きな幸福の朝が光るのである。

『女性に贈ることば365日』から



苦しい時は、この闇が永遠に続くような気がするものです。
しかし、そうではない。

冬はいつか必ず春になります。

永遠に続く冬はない。
誰よりも苦しんだあなたが、
誰よりも人の心がわかるあなたなのです。
誰よりもつらい思いをしたあなたは、
誰よりも人の優しさに敏感なあなたのはずです。

『女性に贈ることば365日』から



タンポポは、なぜ、踏まれても、踏まれても、
負けないのだろうか。
強さの秘密は、地中深くに伸ばした根っこだ。
長いものだと、地下1メートル以上にもなるという。
人間も同じであろう。
悪戦苦闘を耐え抜き、自身の人生の根っこを、
何ものにも揺るがぬ深さまで張った人が、
まことの勝利者だ。

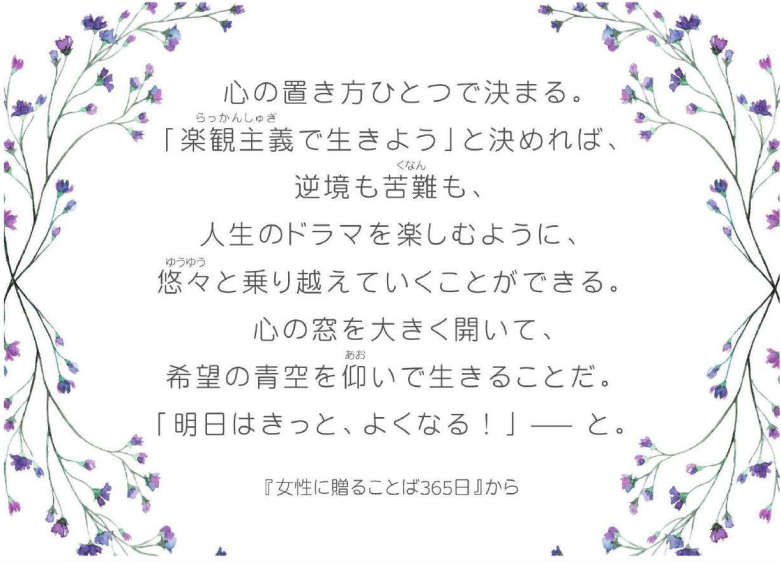
『女性に贈ることば365日』から



いっとき
一時の勝ち負けよりも
大事なことは、何か。

それは、
「頑張ろう！ 戦いきろう！」
という熱い情熱が
燃えているかどうかです。

『女性に贈ることば365日』から



心の置き方ひとつで決まる。
「楽観主義で生きよう」と決めれば、
逆境も苦難も、

人生のドラマを楽しむように、
悠々と乗り越えていくことができる。

心の窓を大きく開いて、
希望の青空を仰いで生きることだ。
「明日はきっと、よくなる！」—— と。

『女性に贈ることば365日』から

人を思いやる心は、
相手によって生まれてくるものではなく、
まず、自分の心の中に築き上げるものである。
鏡に向かってお辞儀をすれば、
鏡の自分もお辞儀をするごとく、
自分自身の心が、
相手の心と呼び醒ましていくのだ。

『女性に贈ることば365日』から



母の力は大地の力である。

大地が、草木を茂らせ、
花を咲かせ、果実を実らせるように、
母は、いっさいを育む創造と教育の大地である。
その大地が、ひとたび動けば、すべては変わる。
母が家庭を変える。母が地域を変える。
母が社会を変える。母が時代を変える。
そして、母が世界を平和へと変えていくのだ！

『女性に贈ることば365日』から